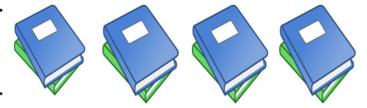


女性センター図書室より



新着図書紹介（令和 6 年 10 月）

女性センター「ハーモニー」図書室 ～悩みや生き方の問題に直結する資料を集めています～

トランスジェンダーQ&A 素朴な疑問が浮かんだら

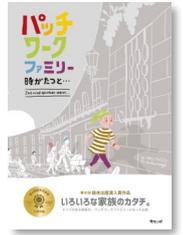
高井ゆと里、周司あきら / 著
青弓社



「性別を生きる」って、どういうこと？ トランスジェンダーについての基礎的な情報、性別分けスペースのこと、「トランス差別はいけないけれど気になる」疑問など、大きなクエスチョン21個、そこから派生するクエスチョン65個の問いと答えをまとめる。

パッチワークファミリー 時がたつと…

いそがいこういちろう / 作
みらいパブリッシング



ドイツでは、離婚や再婚でつぎはぎになった家族のことを「パッチワークファミリー」と呼び、特別な存在ではなく、よくある家族のカタチとして溶け込んでいるという。時間の経過とともに変化していく家族のささやかな日常が、ほほえましく描かれた絵本。

あんずのてんきとママのてんき

やさかよしひろ / 作
ふじいこおた / 絵
三恵社



「主人公のあんずが投げかける疑問について考えてみてください。大切なヒントは、あんずのママ・パパが教えてくれます。」子育てを頑張るママ・パパ、キャリアを支援するコンサルタントの方へ、キャリアについて自然に学べる絵本。

せかいでさいしよに ズボンをはいた女の子

キース・ネグレー / 作
石井睦美 / 訳
光村教育図書



今から約150年前、女性はズボンをはいてはいけないという常識に疑問を投げかけ、非難されても抵抗した人がいた。後に女性初の軍医として活躍し、フェミニストとして知られたメアリー・Eウォーカーをモデルにした絵本。

色とりどりのぼくのつめ

アリシア・アコスタ、
ルイス・アマヴィスカ / 文
ガスティ / 絵 石井睦美 / 訳
光村教育図書



ベンは、マニキュアに夢中。色とりどりのごきげんなつめを見ると、ワクワクするから。ところが、つめを真っ赤にぬって学校に行ったある日、男の子たちがベンをからかった。「やーい、女の子！」って。ジェンダーを考える絵本。

ぼくのスカート

ピーター・ブラウン / 作・絵
日高庸晴 / 監・訳
小学館



「あなたは、あなたのままでいい」なぜかいつも服を着ないフレッドくん。あるとき、こっそりクローゼットに入り、おかあさんの服を着てお化粧もしてみます。すると「とってもいい感じ！」。その姿を見た両親は、どうするのでしょうか？



鶴ヶ島市女性センター図書室

[貸出日] 火～土曜日 9時～17時

(祝日、年末年始、全館清掃日は休室)

〒350-2213 鶴ヶ島市大字脚折1922番地7

電話 049-287-4755 FAX 049-271-5297